

第12回

公開
研究会

専修学校教育における ICTの拡がりを考える



～保健・医療・福祉教育現場における今後の可能性について～

ICTやAIの発展は極めて急速であり、それを活用してVRやARが普及し始めています。当然教育の現場でもその活用は、授業効果に大きな影響を与えるものと考えられます。バーバルだけではなくノンバーバルなコミュニケーション能力の向上が求められる社会福祉教育や介護福祉教育においても、この活用による教育効果の改善は大きく期待されるところです。

しかし、残念ながら社会福祉教育や介護福祉教育ではこの分野はまだ手が届いたばかりの状況で、極めて遅れています。そこで、まずは、ICTやAIの発展を踏まえたVRやARの現状を確認し、将来の展望を考えていきます。

第1部

オンライン配信



初の試み!

教育現場の現状をふまえ、「なぜ、ICTが必要なのか?!」「取り組まなければならない理由!!」について、竹下康平氏（株式会社ビーブリッド）、「VR(ケアブル)で学ぶ意味!」などについて瀧本俊幸氏（株式会社ジョリーグッド）、監修の立場から宮本隆史氏（社会福祉法人善光会）にご説明いただく予定です。

なお、第1部は第2部にご参加いただく前に“必ず”ご視聴されますようお願い申し上げます。

第2部

公開パネルディスカッション



『専修学校教育におけるICTの拡がりを考える～保健・医療・福祉教育現場における今後の可能性について～』をテーマとし、第1部にご出演いただいた方々のほか、教育の立場から長崎和則氏（川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科 教授）にご出演頂き、ICTなどの発展をふまえたVR・ARの現状から、将来の展望を考えていきます。

申込締切：8/22（土）

定 員：300名（先着順）

日時：2020年8月29日（土）13:30～15:00

場所：Zoomによるオンライン開催（ID・パスワードは、お申込みされた方にご連絡致します）

テーマ 専修学校教育におけるICTの拡がりを考える

～保健・医療・福祉教育現場における今後の可能性について～

◆コーディネーター

竹下 康平 氏（株式会社ビーブリッド 代表取締役）



◆シンポジスト

宮本 隆史 氏
（社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 統括施設局長）



瀧本 俊幸 氏
（株式会社ジョリーグッド 事業開発部ビジネスプロデューサー）



◆長崎 和則 氏

（川崎医療福祉大学 医療福祉学部
医療福祉学科 教授）



【お問い合わせ・申込み】
職業教育研究開発センター
担当:島谷・杉山・藤井
お申込みはこちらから →



メール: vetrdi-kensyu@keishin-group.jp
TEL:03-3200-9074